

# ジャストベース(JE I 型)の設計指針

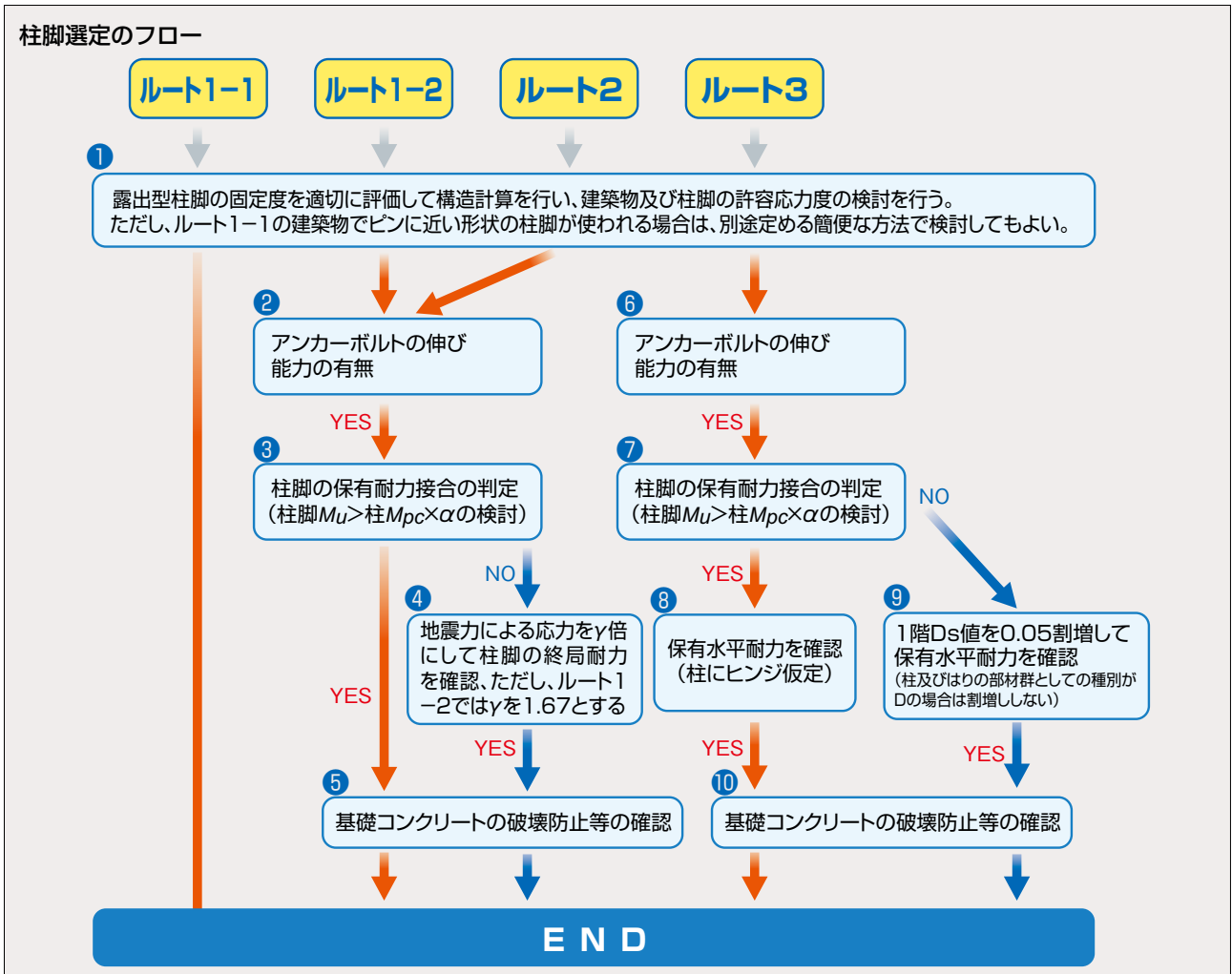
## \*柱脚応力の検定フロー

柱脚応力の検定に当たっては、(一財)日本建築センター「2015年度版 建築物の構造関係技術基準解説書」に則り以下の設計フローに従って行う。

なお、ジャストベース(JE I 型)に用いているアンカーボルトは、ネジ部有効断面積が軸部と同等であるため、伸

び能力のあるアンカーボルトとして検定を行い、下図の赤線矢印がジャストベース(JE I 型)の設計フローの流れである。

③、⑦では保有耐力接合条件が満たされているため YES と判定し、⑤もしくは⑩に進む事ができる。



## 柱脚詳細

### \*原則

本指針による柱脚詳細はジャストベース(JE I 型)標準仕様による。

### \*共通事項

#### ①溶接

柱部材とベースプレートの溶接は完全溶け込み溶接とする。ベースプレートと柱材の溶接施工及び施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等により行うものとする。

#### ②基礎柱型

コンクリートは普通コンクリートとし、設計基準強度  $F_c = 21\text{N}/\text{mm}^2$ 以上又は  $24\text{N}/\text{mm}^2$ 以上とする。基礎柱型の配筋はジャストベース(JE I 型)標準仕様による。

## 構造計算ソフト

### \*対応構造計算ソフト

- ・ Super Build/SS7 (SS3)
- ・ Build. 一貫V (IV+)
- ・ SEIN La CREA/DANS
- ・ BUS-6 (BUS-5)
- ・ ASCAL
- ・ ACE 許容3

### \*耐力曲線プログラム

耐力曲線図においてジャストベース(JE I 型)の耐力を判定するソフトがジャストベース HP よりダウンロード可能です。

最新版はダウンロードページをご確認下さい。

URL : <http://www/kemco.co.jp/kenzai/>